

『利他』と『共創』が実現する 日本のエネルギー維新

～クライシスの時代を乗り越えるために～

2023年7月3日(月)
株式会社エクソル 代表取締役社長
一般社団法人太陽光発電協会 理事
鈴木 伸一



agenda

1. クライシスの時代に
2. エネルギー自給率向上への提言
～XSOLUTIONについて～
3. 日本が抱えている課題
4. 最後に

1. クライシスの時代に

「不確実な時代」つまり「『天変地異』の時代」へ突入した！



「あたりまえ」「平和」「日常」が突然そうではなくなる。
突然訪れる「危機の時代」

『誰もがいつ、被害・被災の当事者になってもおかしくない時代』

北極圏で38度



※写真はイメージです

バッタ大量発生



※写真1)

中国 大洪水



※写真はイメージです

アメリカ・オーストラリア
山火事



※写真はイメージです

クライシスの時代に ～国際情勢について～

ロシア・ウクライナ戦争が引き起こした資源の供給不足

ロシアに一部エネルギーを依存していた欧州に深刻な影響が発生

→エネルギー争奪戦となり
資源価格が災害級の高騰



戦争勃発から早くも1年4カ月 日本に対しても迫りくる中露の手

2022年12月1日

中国とロシアの爆撃機 沖縄本島と
宮古島の間などを共同で飛行



やはり日本にとってエネルギーセキュリティこそ
緊急課題であることが鮮明に！

「天変地異の時代」においては価値の基準が変わる

「経済」や「貨幣」の価値は浮動的（相対的、変動的）なものに

〈例〉 マスクの平均価格（1枚）推移（税別）

資料）エクソル調べ

2020年 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
マスク価格 枚/円	6 (最安3.4)	60	70	78 (最高160)	30	20	15	15	10 (最安5)
状況			コロナ 第一波	非常事態宣言					

ピーク時は平常時の**13倍（47倍）**の価格 → ハイパーインフレ
ハイパーデフレ

「『貨幣』はただの交換券」

「実態あるもの」が唯一の「価値」の基準となる。

「実態あるもの」とは何か？



etc.

要は現物

人間が生きていく上で絶対に必要なもの。「不動的」「絶対的」な価値を持つ。

➡ **「実態あるもの」をどれだけ安定的に確保できるかが重要**
<個人レベル>

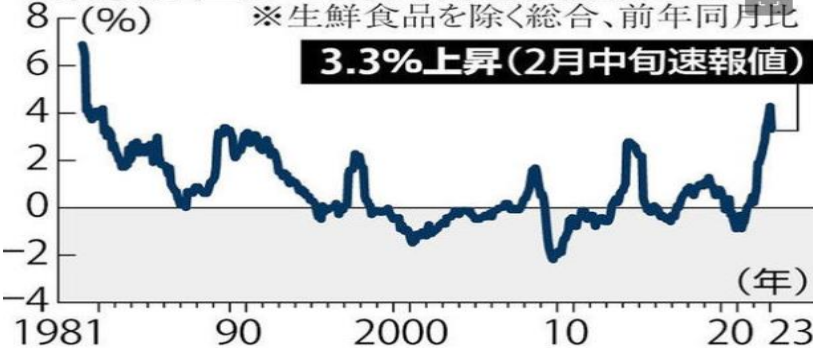
それが
レジリエンス

水	食糧	住居	エネルギー
つくれない	限定的にしかつくれない	つくれない	分散化電源（太陽光発電）
×	×	×	○

エネルギーだけでも、自給自足を

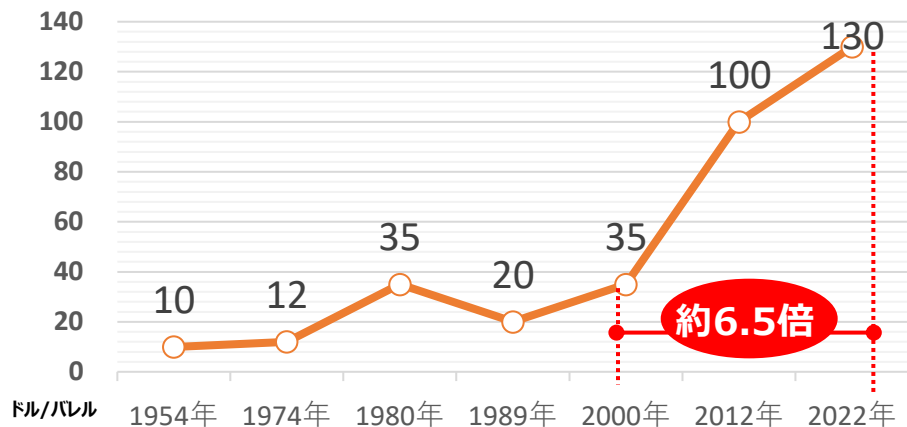
クライシスの時代に ~市場への影響~

東京都区部の消費者物価指数変化率

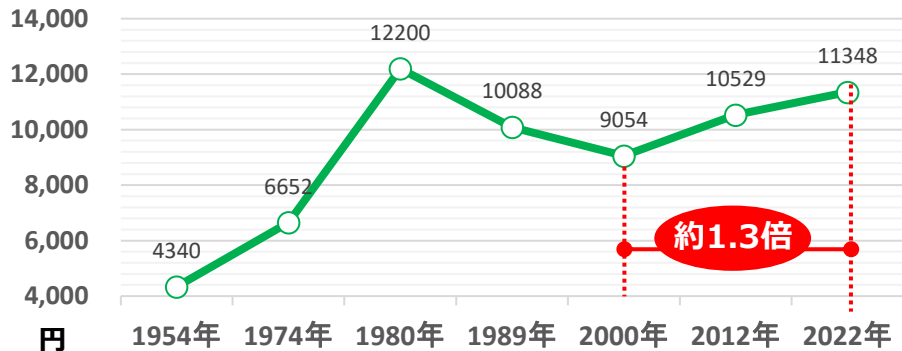


資料) 3/3 読売新聞より

【原油先物価格推移】



【電気代 (400KW使用時/月) 推移】



原油をはじめ生活に密着するものが次々に値上げされ、人々の生活を直撃している。

クライシスの時代に

～電力(スポット)市場の高騰について～

■ 2014年7月25日:スポット価格

■ 2021年1月15日:スポット価格

■ 2022年2月10日:スポット価格



原油とLNG価格の上昇から
電力単価上昇

電力需要増で
LNG在庫が減少し
電力単価上昇

電力需要増、LNG価格
高騰、加えてロシアウクライナ戦争により単価上昇

電気代の高騰は「日常茶飯事」、度々電力がひっ迫し
エネルギー資源が乏しい日本は、すぐに大きなダメージを受けてしまう。

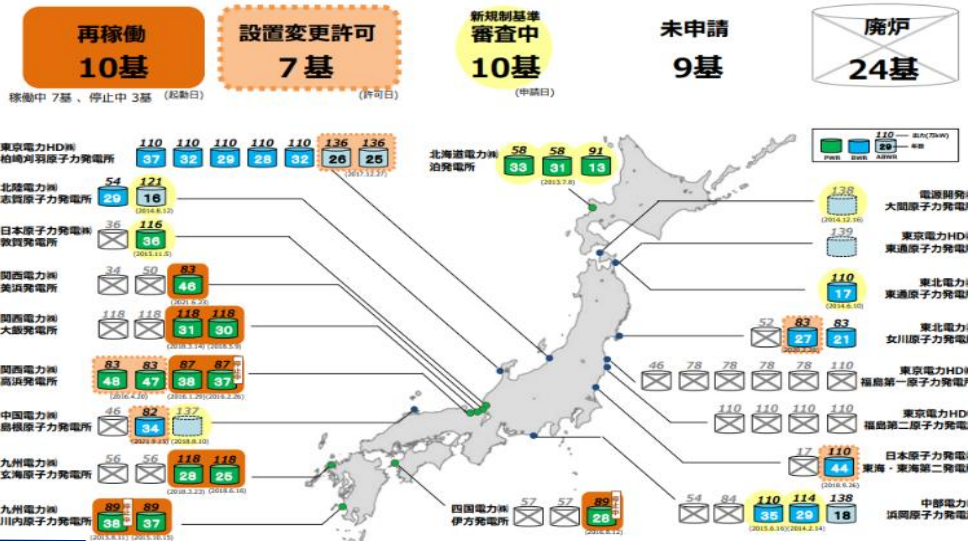
原発の稼働年数を60年超へ

2023年
5月

原子力発電所の**60年超の運転**を可能にするGX脱炭素電源法が成立



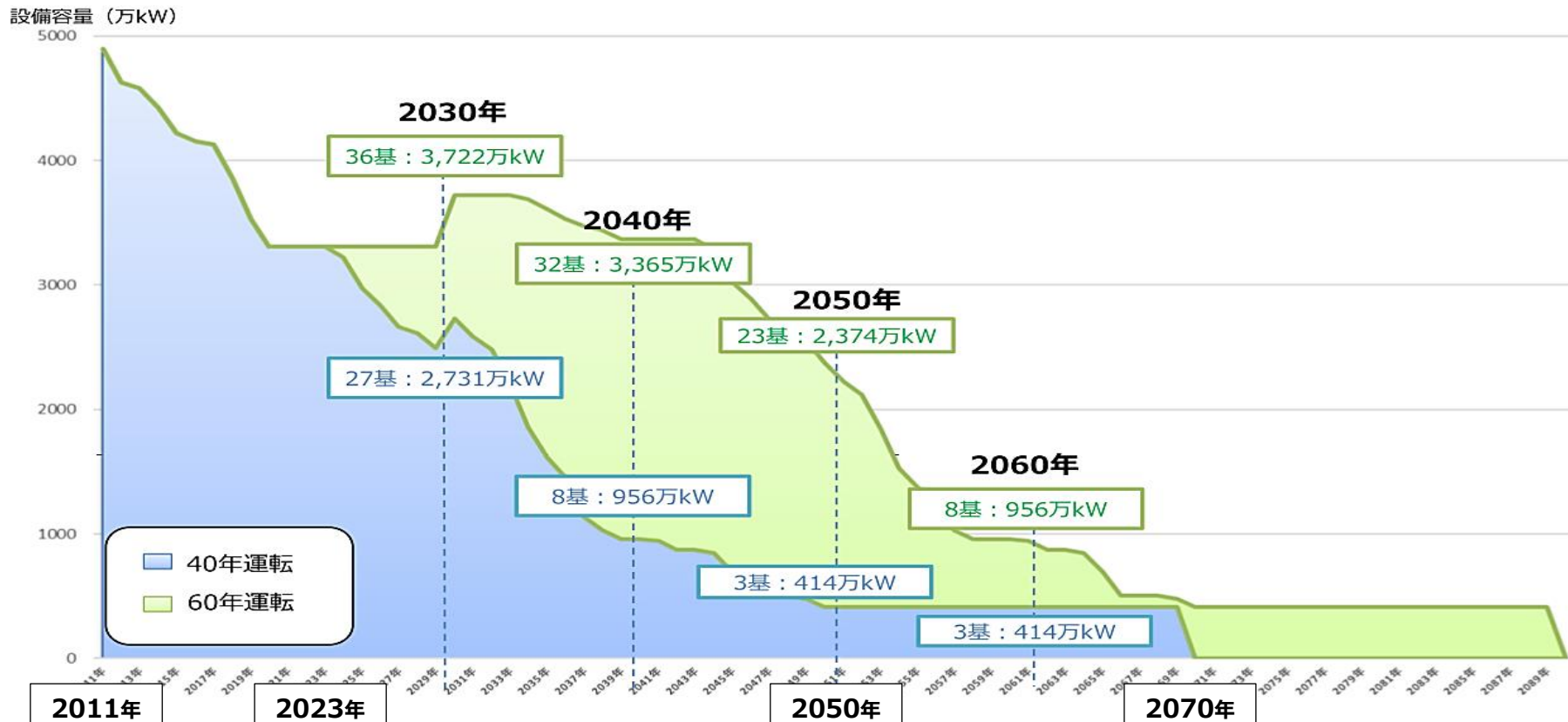
■ 原子力発電所再稼働の現状



逆に今すぐ稼働できないことの証明??

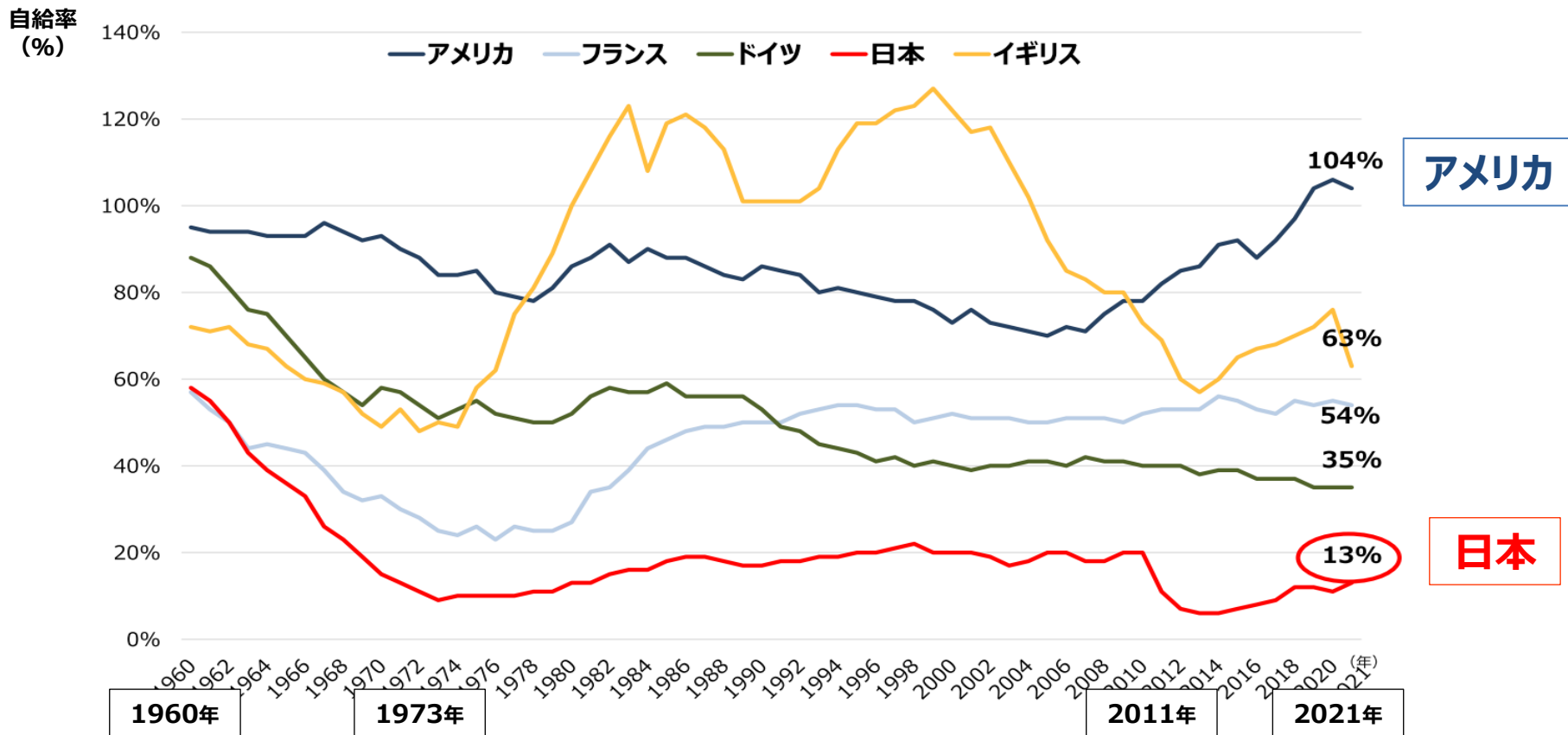
仮に原子力発電がいかに稼働したとしても
エネルギー資源が無い日本は弱者のまま
⇒再エネの普及に歯止めはかからない

原発力発電所の設備容量見通し



2. エネルギー自給率向上への提言 ～XSOLUTIONについて～

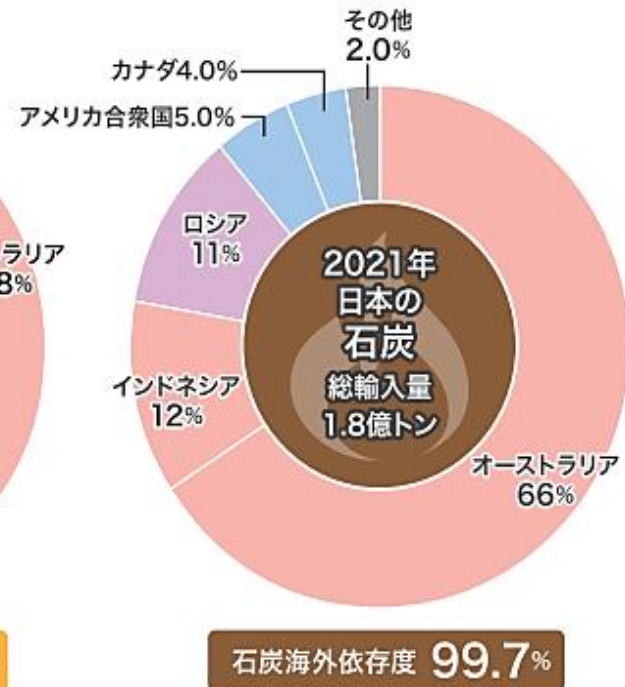
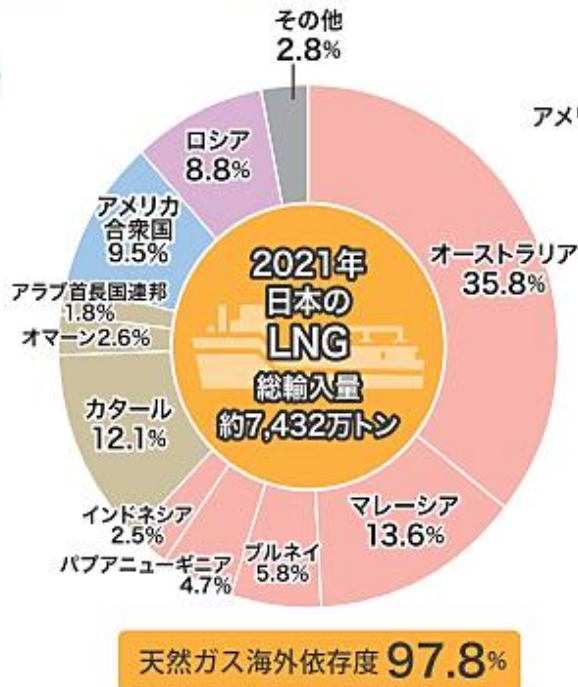
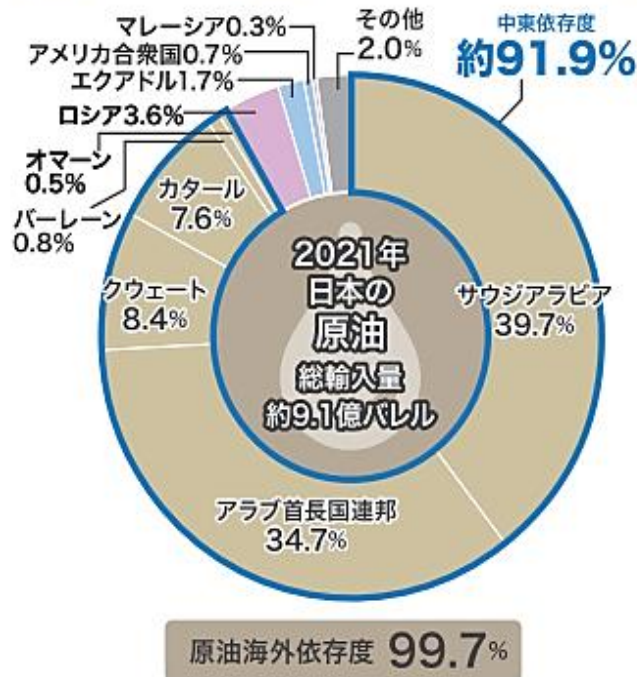
主要国のエネルギー自給率の推移



日本の化石燃料の輸入先

日本の化石燃料輸入先(2021年)

■ 中東から
 ■ アジア・オセアニアから
 ■ ロシアから
 ■ 北・中米から
 ■ その他



エネルギーセキュリティ危機 ～自給率向上に対するXSOLからの提言～

生まれ来る子どもたちに 誇れる明日を残すため あなたに伝えたいことがある



生まれ来る子どもたちに
誇れる明日を残すため
あなたに伝えたいことがある

XSOLUTION

エネルギー
自給率
50%

太陽光発電を「主力電源」とし、
化石燃料の需要を減らす。

それこそがこの国を救い、
この地球を救う、共通の答えだ。

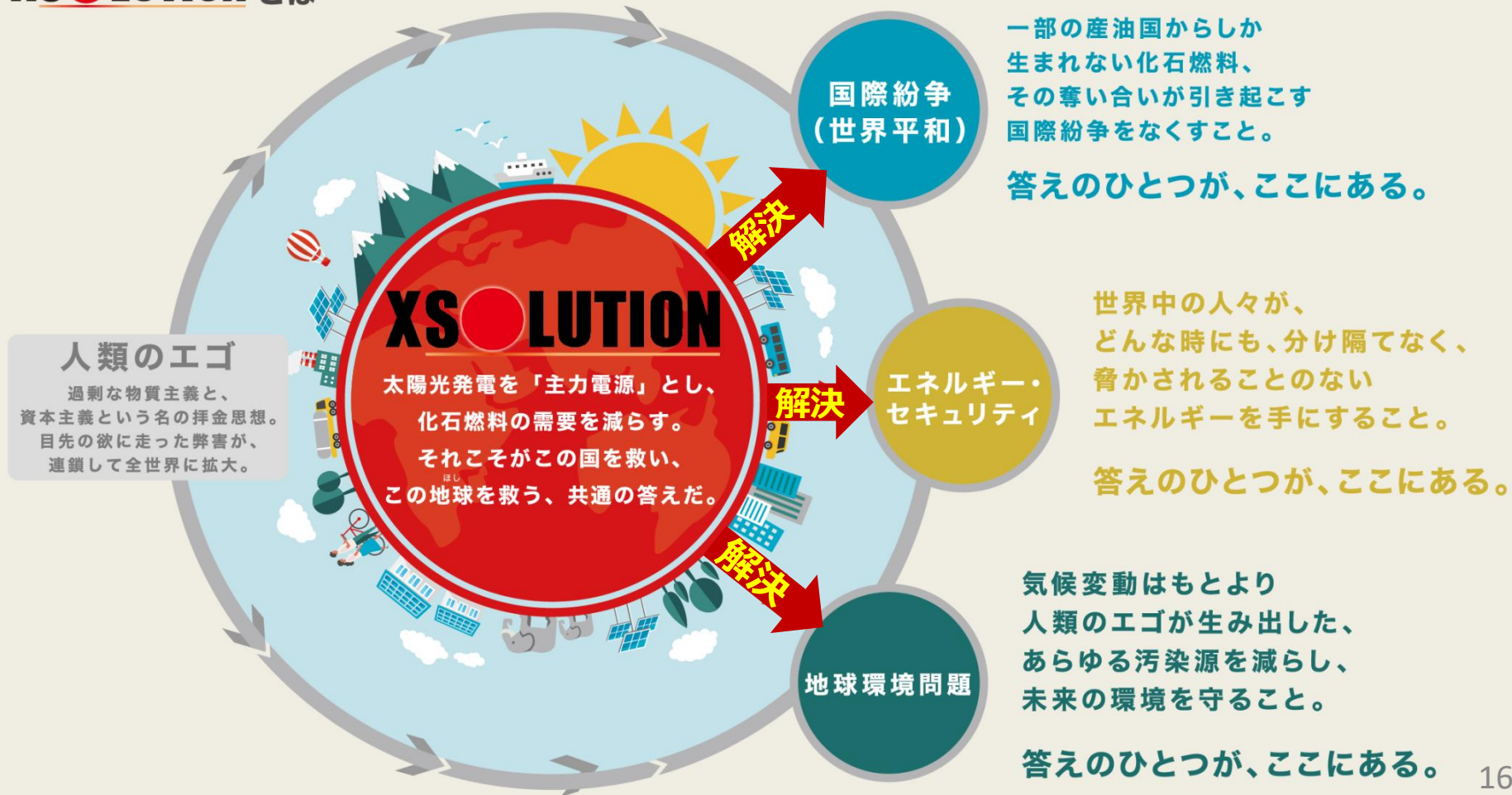
2020年9月

XSOLUTION 発表

「国際紛争＜世界平和＞」への答え、
そのひとつがここにある

「エネルギー・セキュリティ」への答え、
そのひとつがここにある

「地球環境問題」への答え、
そのひとつがここにある



人類のエゴ

過剰な物質主義と、
資本主義という名の拝金思想。
目先の欲に走った弊害が、
連鎖して全世界に拡大。

XSOLUTION

太陽光発電を「主力電源」とし、
化石燃料の需要を減らす。
それこそがこの国を救い、
この地球を救う、共通の答えだ。

国際紛争 (世界平和)

一部の産油国からしか
生まれない化石燃料、
その奪い合いが引き起こす
国際紛争をなくすこと。

答えのひとつが、ここにある。

エネルギー・ セキュリティ

世界中の人々が、
どんな時にも、分け隔てなく、
脅かされることのない
エネルギーを手にする事。

答えのひとつが、ここにある。

地球環境問題

気候変動はもとより
人類のエゴが生み出した、
あらゆる汚染源を減らし、
未来の環境を守ること。

答えのひとつが、ここにある。

私たちの地球はなぜ、こんな風になってしまったのか？

- 地球が、有史以来、未曾有と言うべき瀕死の状況に陥っています。
- 各地で、天変地異が起り、生態系は破壊され、変異し、環境汚染により、その毒は結局、それを垂れ流した私たち自身の生命と文明を脅かしています。新型コロナウイルス感染症もそのひとつと言って過言ではありません。
- 拝金思想、即ちお金こそ神様であるという愚かな価値観の下、自分さえ、自分たちさえよければいい、という「エゴという悪想念」を世界中で発生させ、行き過ぎた資本主義が横行し、過剰で無用な再生産や消費をひたすら拡大し、その悪循環を今も繰り返していることの結果だと言えましょう。
- 本来ならば、人類が心から反省し、この「エゴという悪想念」の発生排出を止めなければ、根本的な解決にはなりません。
- 自分達がこの世からいなくなった後の世界を素晴らしいものとする、という決意と志でそのビジョンを描いてゆかねばならない、と思うのです。**それを私たちは「エネルギー維新」と呼んでいます。**

国際紛争 <世界平和>」への答え、そのひとつがここにある

エネルギー（化石燃料）の歴史は、その奪い合いの歴史

国際紛争が起きる要因の70%は、エネルギー資源の利権争いであると言われています。

エネルギー（化石燃料）が一部の限られたしくみと支配下にあるという問題

一部の産油国からしか手にできないものであり、その利権を限られた裕福層や王族などが独占してきたことにより、私たち世界中の人類が常にエネルギー・化石燃料の供給危機にさらされています。

今こそ、化石燃料の需要を減らす太陽光発電の普及を

他国に依存しない自給自足エネルギーである太陽光発電で、過半のエネルギーが確保できるようになれば、化石燃料への需要・依存度は大幅に下がります。

争いが減り、先進国と途上国間の格差是正につながる。

化石燃料をめぐる争いや国際紛争がなくなり、自給自足ができるようになることで、世界中の暮らしのクオリティが一気に上がり、格差是正につながります。

また、貧富の格差を原因とした暴力（テロ等）の抑制にもつながります。

「エネルギー・セキュリティ」への答え、そのひとつがここにある

エネルギーを自給できないことのリスク

近年頻発している自然災害などの発生により、停電等が長期化した場合の生活への影響や、生命危機への恐怖は計り知れません。→電力会社や大規模発電所、さらには広域電力系統網という外部インフラに依存し、自分たちで使うエネルギーを自給することができていないからです。

エネルギー自給率の低い国が抱えるリスク

国際紛争等の有事が起きた際に、エネルギー自給率が10%以下と低い国の場合、たちまちエネルギーの供給危機に陥ります。その結果、暮らしの安心が大規模に脅かされます。

自給自足エネルギーの普及へ、ソリューションは「分散化電源」太陽光発電しかない

エネルギーセキュリティに関しても、自給自足エネルギーである太陽光発電のさらなる普及こそが、有効な解決策です。さらに「電源の分散化」が電力系統網等への被害が発生した場合の対策として極めて重要になります。

エネルギーの供給リスクにさらされない強靱なエネルギーセキュリティを確保

太陽光発電によりすべての国や地域、そして法人・個人がエネルギーを自給できれば、各国の総エネルギー自給率が飛躍的に高まり、他国に依存しない強靱なエネルギーセキュリティを確保できます。

エネルギー自給率の極めて低い日本においては、この問題は喫緊最重課題であるといえます。

「地球環境問題」への答え、そのひとつがここにある

地球温暖化は環境問題の一側面にすぎない

CO₂や地球温暖化以外にも、「天変地異」ともいべき異常気象が世界中で頻発し、特に気候変動は干ばつ、山火事、台風、大雨、洪水、生態系の異常を引き起こし、果ては疫病やウイルスをも産み出し、食糧危機にまでつながります。

化石燃料への依存が地球環境全般を脅かす

化石燃料への異常依存は、有害ガスの発生、大気汚染、水質汚染。プラスチック等の廃棄による土壌汚染、海洋・水質汚染等が引き起こされ、生物への影響や様々な環境汚染問題につながります。

化石燃料を減らしてゆくこと、そして自然や環境を大切にしながらの再エネ普及、それが地球環境問題の解決につながる

化石燃料への依存度が減ることで、気候変動だけでなく様々な汚染源も減り、あらゆる地球環境問題の解決につながります。しかし、太陽光発電の普及自体が自然破壊や廃棄物の大量発生につながることはありません。強引な山林開発などを禁止しリサイクルシステムの確立が必須条件なのを言うまでもありません。

再生可能エネルギー・太陽光発電の普及と「主力電源化」が、地球と日本の未来を変える

無限に降り注ぐ「太陽からの愛」とも言える太陽光発電を普及により、化石燃料の需要と依存度を劇的に下げてゆくこと。そして、決して枯渇することのない豊かでクリーンな太陽光発電を1kWでも多く普及させることで安全・安心・平等・公平で平和に生きてゆける世界を、未来の子どもたちに残すことができます。

いかに化石燃料への依存を減らすか

化石燃料に代わる、代替エネルギーの普及拡大！

「エネルギー維新」

太陽光	◎	さまざまな場所で 規模問わず設置 が可能である、最強の分散化電源。他の電源よりも変換効率は低い（技術革新に期待）。
地熱	△	火山地帯等の地域性がある。また地下熱源調査等に費用と時間がかかる為、 導入障壁が高い 。
水力	○	発電や管理コストが安価のため、導入が拡大。大規模ダムに適した地点が少なく、 建設可能な地点は既に建設が完了 している。
風力	○	既に導入が進んでおり、今後、洋上風力の導入拡大が期待される。しかし、 導入に適した地域に偏りがある 。
原子力	×	テロ対策施設や安全性強化のための追加コストが増加し、 経済合理性消失 。 50年後、新核融合技術に期待。

現時点では、誰もが簡単に安く手に入れることのできる
（自給自足）エネルギー、それは太陽光発電しかない。

近視眼的、自分達（の時代）さえよければいい、という先人、 「過去」になるな～未来の子供たちや子孫はどうなってもよいのか～①

- ・サントリーホールディングス株式会社のTVCM、その名も「素晴らしい過去になろう」。
- ・今の子どもたちが大人になった時、その子どもたち「未来」を用意するのは、やがて彼らに「過去」と呼ばれる「今のぼくたち」なのだ。ぼくたちは、素晴らしい「過去」になれるのだろうか？ そうだ、この子たちの「素晴らしい過去」になろう。と、いう主旨のTVCMです。ご覧頂きたい、と思います。
- ・再エネ賦課金の増加により、年間一世帯当たり、約1万円の上乗せが発生する、各世帯の「負担」は過大となる、的な論調。
- ・現在（以降の新設）は既に国民に課される賦課金はほんの僅かしかありません。それだけ太陽光発電のコストが下がってきた、ということです。
- ・結局こういった類の報道記事や論調には明らかに2つの大きな心得違いがあります。

近視眼的、自分達（の時代）さえよければいい、という先人、「過去」になるな～未来の子供たちや子孫はどうなってもよいのか～②

2つの大きな心得違い

①再エネ賦課金を「国民『負担』」と表現する向きがある。「負担」が「迷惑なもの・余計なもの」とでも言いたげな表現になっています。果たしてそうでしょうか？

・再エネ賦課金は一時期のバブル崩壊による不良債権処理等に公的資金が注入された事例とは全く意味が異なる。これは来るべき未来の子どもたちに安全で安心な地球を残すための「未来（生命）」への投資です。言い換えれば、「未来への種まき」「植樹」なのです。

・目の前のなにがしかの電力料金が上がることを惜しみ、近視眼的にそのツケを未来に、子どもたちへ回すことを選択するのでしょうか？

②再エネ賦課金は総額だと数兆円、一世帯当たり年間約1万円に達したそうです。月額にすれば833円です。

・今回、新型コロナ対策で国はひとり10万円の給付で12兆円という支出をしました。全体での対策費は勿論、100兆円を超えるとも言われています。①の主旨を考えた時、この月額833円の世帯当たり負担がどれだけ莫大だというのでしょうか？

・過大で価値のないものなのかどうか、ぜひ自分たちの良心に向き合い、教えて頂きたい、と思います

「エネルギー」を化石燃料に依存することの危うさ

～化石燃料依存による弊害～

2020年9月第8回関西
PVEXPO講演資料より抜粋

- エネルギー（化石燃料）の**奪い合いによる国際紛争の発生**。
- エネルギーの**供給格差社会による貧困や豊かさの格差が発生**。→**暴力の発生**
- 有事によって**エネルギー調達が断たれ**、人々の生活や**生命の安全、暮らしの安心が脅かされる**。
- CO₂排出量の増加による**地球温暖化**。→**気候・環境変動**
- **気候変動**は、干ばつ、山火事、台風、大雨、洪水、生態系の異常を引き起こし、果ては疫病やウイルスをも産み出し、食糧危機にまでつながる。→**天変地異への連鎖**
- 化石燃料を原料とする化学物質から排出される有害ガスの発生、大気汚染、水質汚染。プラごみ等の廃棄による土壌汚染、海洋・水質汚染等が引き起こされ、生物への影響や**様々な環境汚染問題**につながっている。

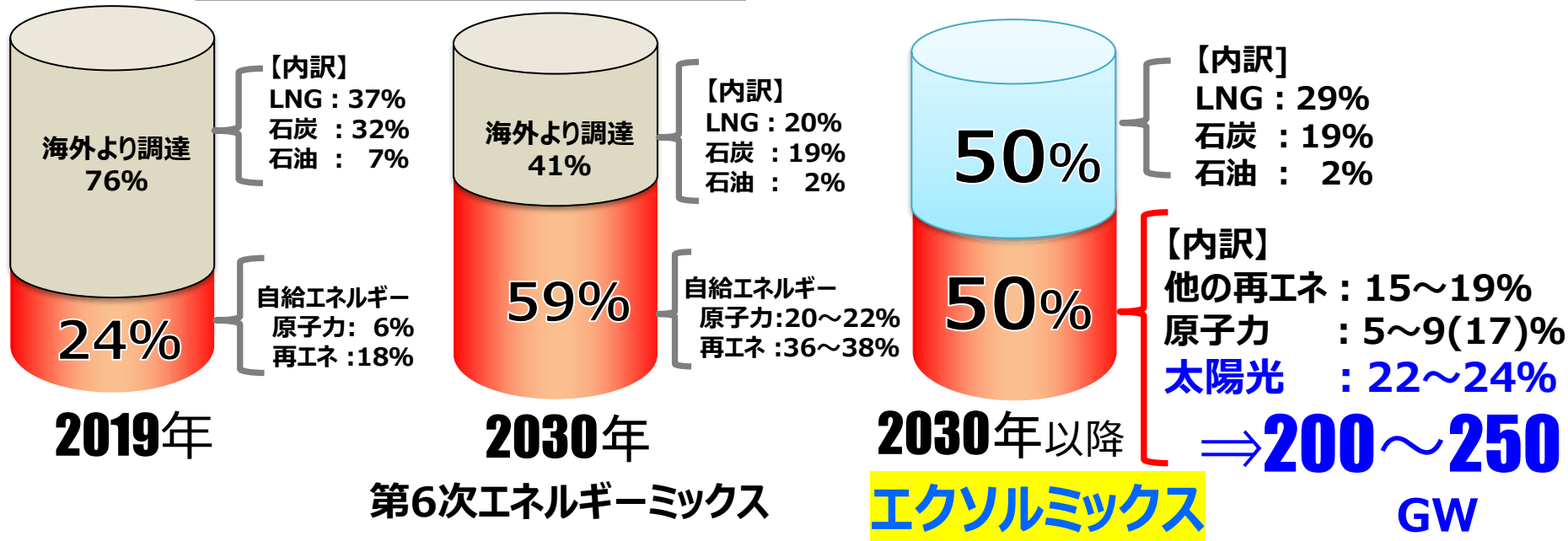


いかに化石燃料への依存を減らすかが、喫緊の課題

『エネルギーミックス』→『エクソルミックス』へ

『エクソルミックス』とは

エネルギー自給率 最低「50%」確保！



化石燃料削減の目標達成に向けて



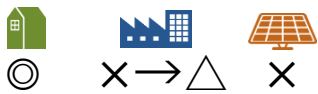
これまで

65GW以上 ※1

これから (2030~40年まで)

135~185GW ※2

FIT
余剰



FIT
全量



FIT
余剰



Non-FIT
余剰



FIT・FIP
全量



Non-FIT
全量



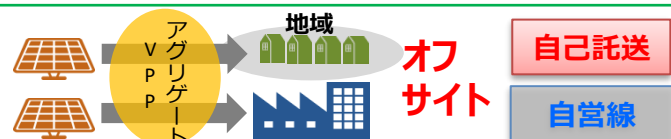
導入方法が
多様化し普及
が加速する

既存PV発電所も潰さない
改修やリパウリングを行い
『寿命のない太陽光発電』を実現

100%
自家消費



オフサイト
100%
自家消費



オフ
サイト

自己託送

自営線

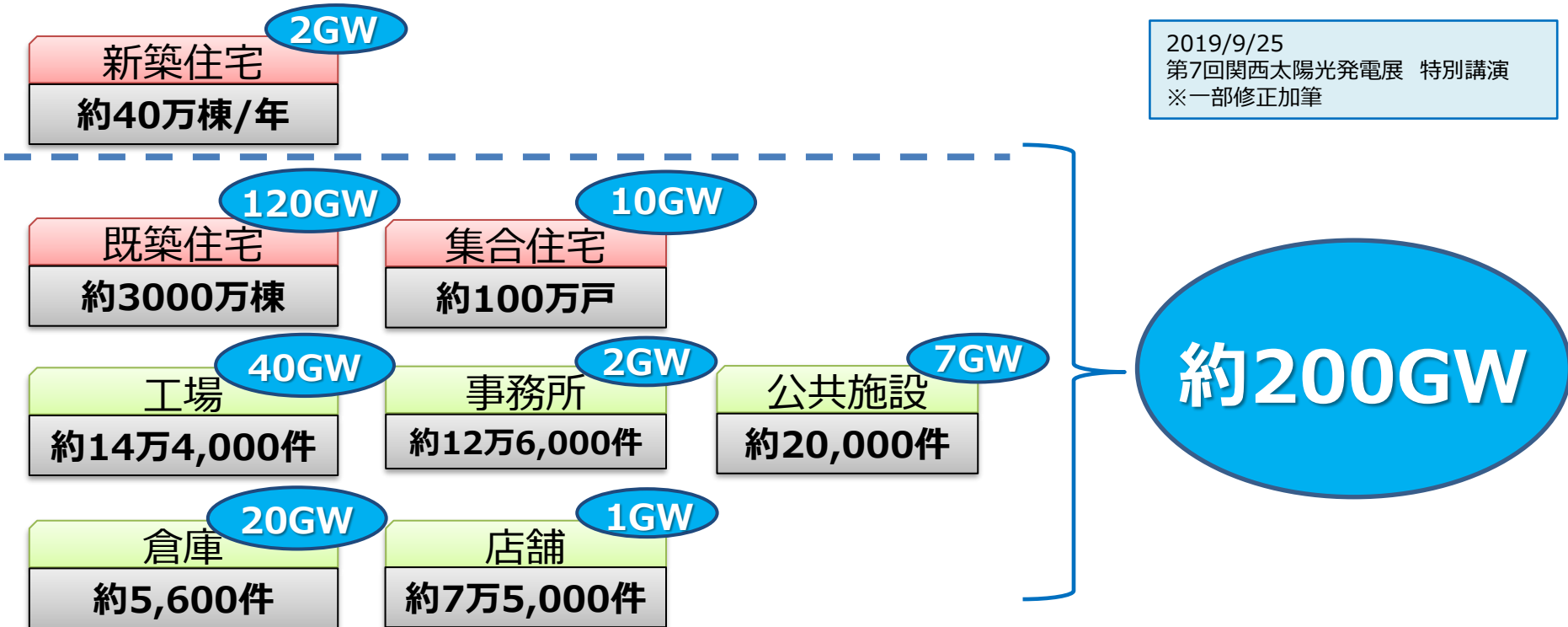
オンサイト
100%
自家消費



既存の設備を維持して新規導入も加速すれば達成可能
→ 1Wも潰せない!!!

「エクソルミックス」への道すじ (ルーフトップの導入ポテンシャル)

2019/9/25
第7回関西太陽光発電展 特別講演
※一部修正加筆



日本にはルーフトップだけでも、**約200GW**のポテンシャル

「エクソルミックス」への道すじ (太陽光発電義務化)

施行

R7年4月～

(戸建住宅含む)

■ 東京都

R4年12月 条例改正案 可決

■ 川崎市

R5年 3月 条令改正案 可決



R4/12/18 東京都・小池知事 太陽光発電に関するメッセージ動画より

太陽光設置の義務化



「エクソルミックス」への道すじ（新しい技術:ペロブスカイト太陽電池）

屋内・小型

IoTデバイス等、特定用途の比較的
小型な機器類に貼る太陽電池



（出典）エネコートテクノロジーズ

- 短寿命の機器への用途であれば、**耐久性の課題は発電用途に比べてハードルが低く、大面積生産技術が確立されることで、小型・高付加価値**といった展開が期待される。
- **ユーザー等との連携による、独自性・高付加価値を追求することが市場獲得に不可欠。**

軽量・フレキシブル型

設置が困難な場所（壁面、耐荷重
が小さい屋根等）に設置

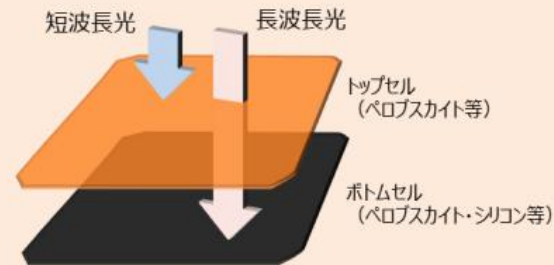


（出典）積水化学工業

- 高い耐久性と高い歩留まりが求められることから、**量産化へのハードルは高いものの、既存の太陽電池ではアプローチできなかった場所**に設置でき、太陽光の導入量の増加に寄与。
- **量産可能な製造技術が鍵。**日本は**耐久性に関する特許でリード**しており、特許化に適さない**製造ノウハウの蓄積が不可欠。**

超高効率型

高いエネルギー密度が求められる分野



タンデム型太陽電池のイメージ

- 設置面積の制限などから、高いエネルギーが求められる分野（交通・航空等）では、従来よりも**超高効率なタンデム型の開発が必須。**
- **超高効率のメリットに合う価格を実現可能な低コスト化が鍵。**高い耐久性と高い歩留まりが求められることから、**量産化へのハードルは高い。**

3. 日本が抱えている課題

自然災害による太陽光発電・送電設備の被害



景観に影響を及ぼしている設置事例



太陽光発電設置義務化に寄せられた様々なご意見（東京都）

「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例）」の改正、所謂「太陽光発電の住宅への設置義務化」について、2022年5月25日（水）～6月24日（金）まで、都のホームページで意見を募集するパブリックコメントが行われました。エクソルも意見を提出すると共に、HPでも情報を発信しています。全文は以下に掲載しておりますが、業界全体に対するさまざまな、ご指摘に対して回答をする形となっております。<https://www.xsol.co.jp/news/2022/06/28998/>

→その後、2022年12月、議会の承認を経て、条例は可決されました。

■ 太陽光発電に否定的なご意見の例

「太陽光パネルのほとんどは輸入品であり、輸入品の普及を無理に推し進める政策は国益に反する」

「太陽光バブルで一部の業者だけが不当に利益を得たように、太陽光発電は格差を助長する」

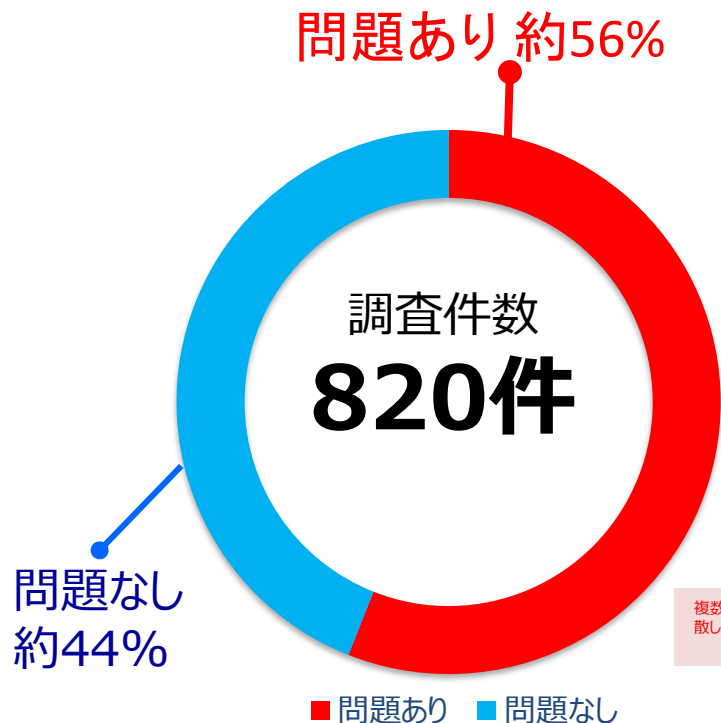
「家は個人の財産であり、自分好みにするもの。なぜ東京都に太陽光発電を押し付けられるのか」

「新築住宅の価格が上昇し、住宅購入者の負担になる」

「政府が節電要請を行うのは、過度な脱炭素政策のせいだ」 etc.

現在起きている問題① ～世間の発電所への印象は年々厳しくなっている～

■ 地域に迷惑がかかっている発電所が多数存在



原因① フェンス・標識



原因② 土砂の流出



原因③ 不具合の放置



パネル固定金具だけが残されている場所



現在起きている問題② ～世間の発電所への印象は年々厳しくなっている～

■ 新規の太陽光発電所建設への反対運動が頻発

2021年3月4日

太陽光発電所「反対」 建築中止求め県に請願
岩国の住民／山口

出典:<https://mainichi.jp/articles/20210304/ddl/k35/040/340000c>

2021年7月16日

小川町メガソーラー計画、住民が関係省庁に
危険性訴え

出典:<https://www.jcp-saitama-pref.jp/topics-pref/3630>

2021年10月3日

太陽光 住民が反対署名 金沢・御所町 崩壊懸念、市
に提出へ

出典:<https://www.chunichi.co.jp/article/342889>

2020年12月12日

比企郡の太陽光発電施設 建設反対住民が集会

出典:<https://newspicks.com/news/5459604/>

2022年1月26日

太陽光発電所に「反対」 地元住民ら建設中止も求め
桐生市に署名を提出

出典:<https://kiriyutimes.co.jp/regional-news/community/30464/>

新規導入が進む一方で**反対運動が頻発**

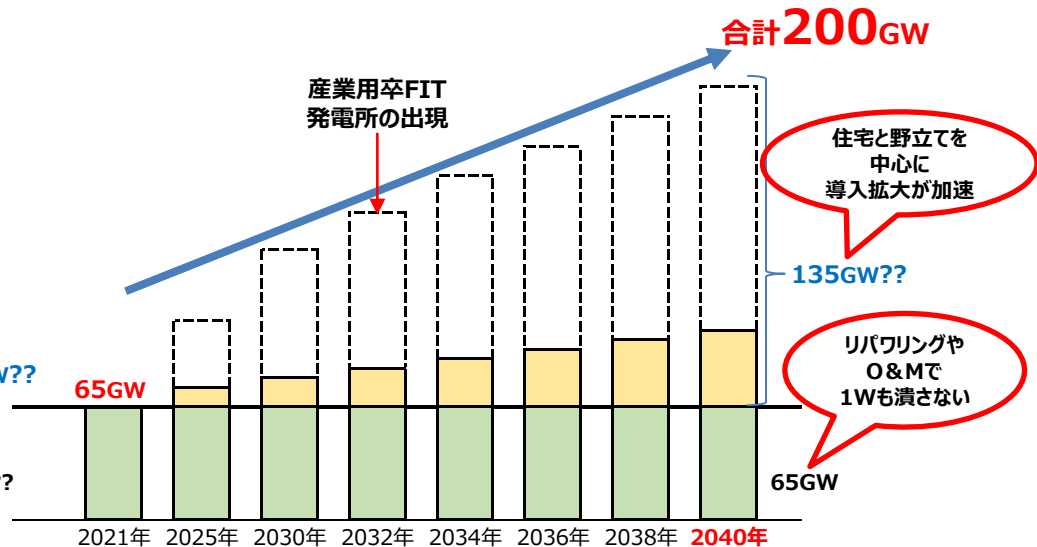
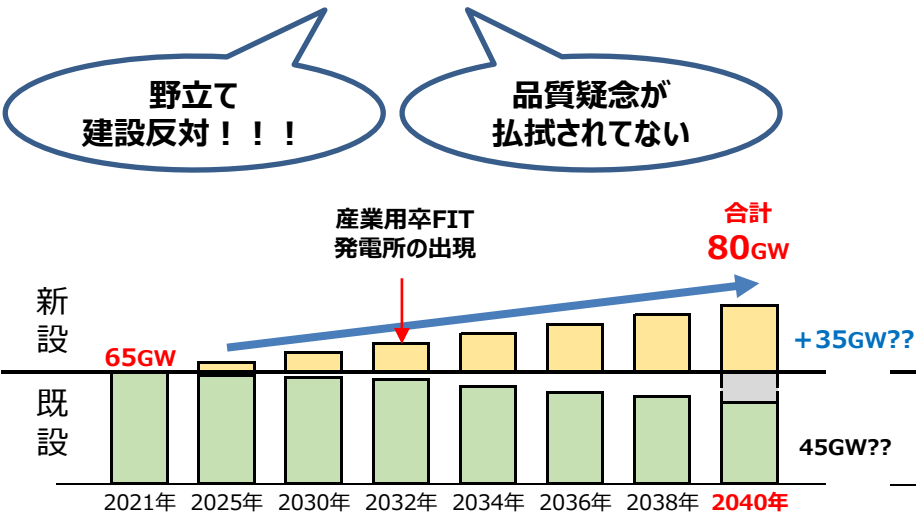
なぜでしょうか？

既設発電所の事故多発。
地元住民からすると漠然とした品質不安が大きくなってきている。

太陽光発電所への安全不安と恐怖が引き起こす致命的逆風

① 地域の不安や恐怖を払拭せず、地域共創を行わなかった場合
野立ての新規導入はストップ+既設も減少する

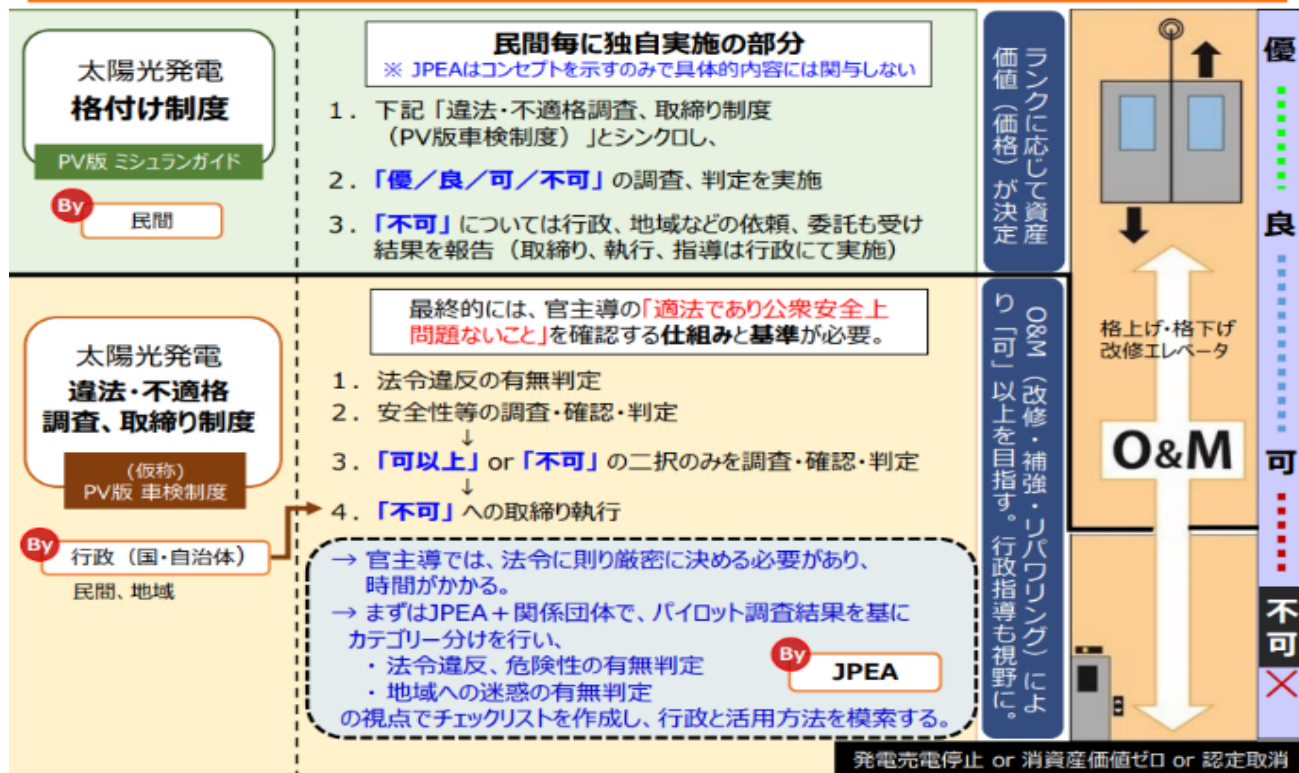
② 地域の不安や恐怖を払拭し、地域共創が成功・実現した場合
地元から発電所建設を誘致されるように

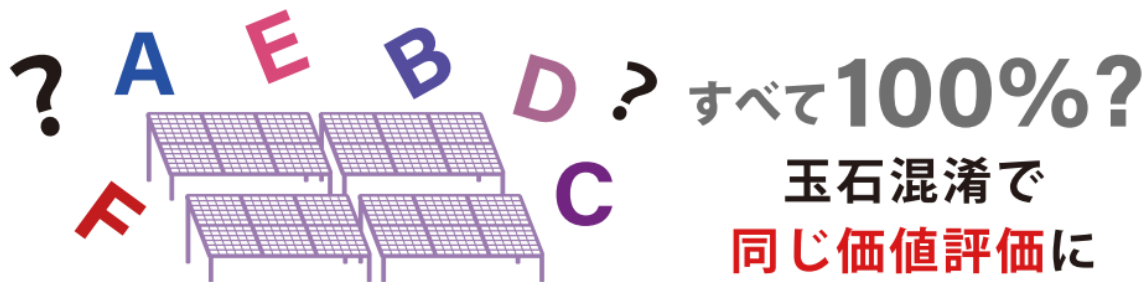


地域共創の成否が2040年累計導入量を大きく変える！
<200GW⇔80GW>

「良い」発電所と「悪い」発電所を共通基準で分類するという考え方

長期安定稼働/安全・健全な太陽光発電所を実現する 地域共創のための2階建てシステム





発電事業者

不適切な発電所でも気づけず、機器の故障による発電停止や認定取り消しによる売電不可の可能性あり
当初の計画より長期稼働する優良発電所の場合であっても、価値に気づけず転売時に安く売ってしまう

行政・地域

地域に不安・実害を与える設備であっても、良・悪の判断ができない →指導・改善ができない
また、実害が発生する前に確認もできないため、予防もできない

金融機関

不適切な発電所にもかかわらず、気づかずに融資してしまう
→ある意味、地域に迷惑をかけている共犯者になってしまう
急な発電停止や売電不可などのトラブルにより、融資返済がこげつく恐れあり

保険

不適切な発電所にも安価な保険料で加入させてしまう →保険金の支払いが増加、赤字に

転売時購入者

不適切な中古発電所を高く購入してしまう →急な発電停止や売電不可などのトラブルの恐れあり

これからは
格付け有

優良な発電所ほど、FIT終了後も長期間発電し、生涯収入が増加（価値向上）

A

B

C

D

E

F

価値が高い ←

→ 価値が低い

このままでは
価値がなくなる!?

【格付けによる期待効果例】

発電事業者	格付けすることで発電所の価値が向上	発電所の価値が同等 もしくは減少	価値が大幅に減少 もしくは設備として無価値に
行政・地域	地域への迷惑や実害の心配が減少 →安心して太陽光発電の導入を促進できる		悪い発電所だけを指導・改善できる 法令違反は売電収入差し押さえ
金融機関	融資条件の物差しとして活用。品質に応じて条件の見直し。		リスクの大きな発電所を 融資停止・解除に
保険	保険料の基準として活用。更新時に見直し、良いものほど保険料が安く!? 災害などの事故発生時に適切な設備である証明にもなる		保険料が高額に。または解約
転売時購入者	ランクに応じた適正な価格で購入でき、安定した発電事業を行える		購入を回避できる

これからの新設発電所は

格付けが
常識に!!

【格付けによる効果】

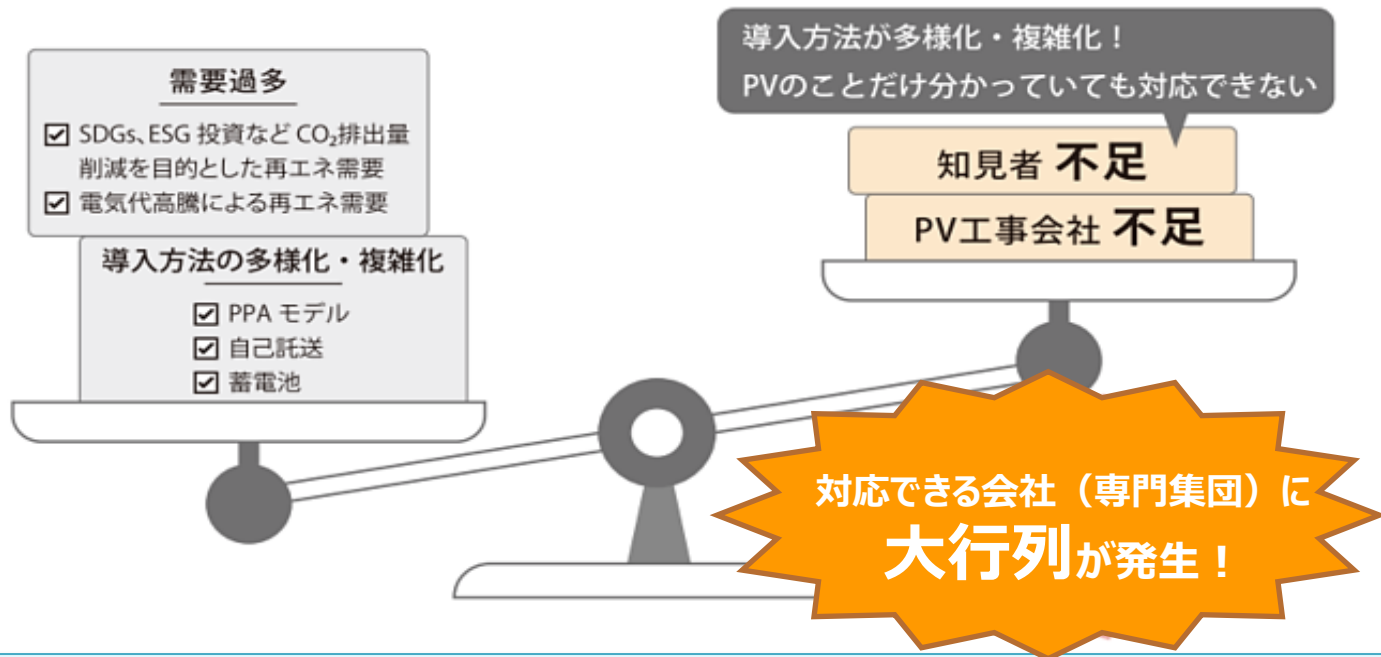
発電事業者	優良な発電所だけを建設できるので発電停止などのトラブルが少なく、安定的で計画的な発電事業が行えるだけでなく、投資効果や生涯収入が最大の発電所を取得できる
行政・地域	発電所のランクがわかるため、不適切な設備にピンポイントで指導できる →結果としては、よい発電所だけが建設されるため、安心して太陽光発電の導入を促進できる
金融機関	融資判断がスムーズに行え、急な発電停止などのトラブルも少なく安心して融資を実行できる
保 険	ランクに応じた保険料率を設定でき、赤字を解消

新設においては、建設前にランクを選択できるため、
結果として、優良な発電所だけに建設が集中する

**PV「格付け(例:ミシュランガイド)時代」
が到来!**

圧倒的な需要過多を乗り越えるために

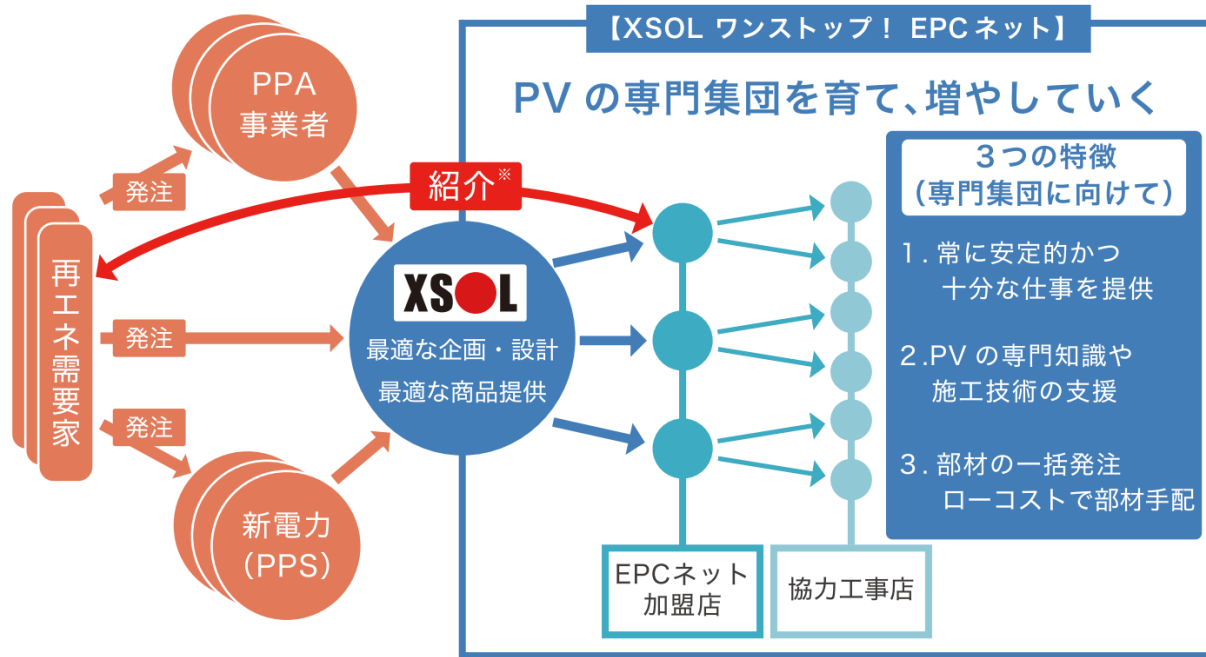
【喫緊の課題】PVの専門集団が致命的に不足



供給難が発生し、再エネ需要家のニーズに応えられない

「エネルギー危機！！」の大規模需要を乗り越える為に！

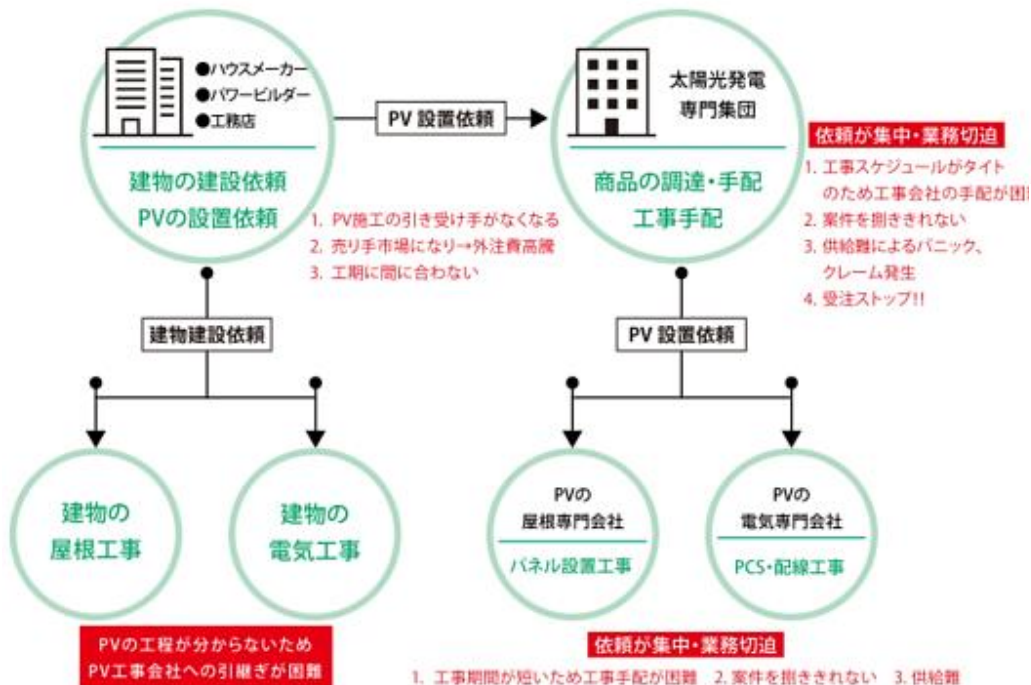
【XSOLワンストップ! EPCネット】が解決



※全行程(設計・各種施工・現場管理工事など)を理解・実行できるようになって
いただければ、ご要望に応じて直接元請として再エネ需要家をご紹介します

圧倒的な需要過多 ～住宅義務化時代に立ち向かう～

【現状】 一部の専門集団に仕事が集中し、供給難が発生！！

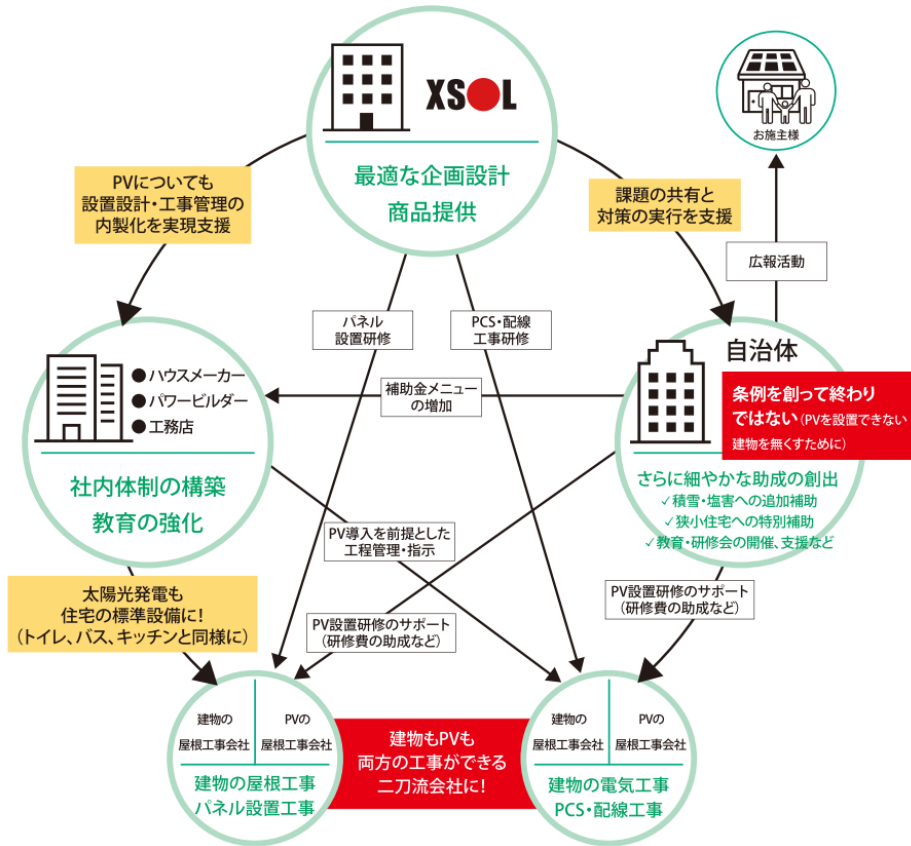


現状のやり方(役割・設置方法・手順など)では
太陽光の工事が間に合わず住宅の
引き渡しができない

「義務化」に対応できない！

建物とPVの工事責任分界点により担当・役割が分離。建物工事会社もPV工事会社も
自らの領域内でのみ工事を行い、PVの工程管理が切り離され効率が悪い。

圧倒的な需要過多 ～住宅義務化時代に立ち向かう～



全棟搭載アライアンス

住宅工事にかかわる全ての人が
太陽光発電の専門集団になることで
「義務化時代の全棟搭載」を実現！

4. 最後に

未来を担う学生の皆さんへ

太陽光発電の主力電源化による「エネルギー維新」が
「日本・世界・地球」を救う。

けれども、、、

「エネルギー維新」は目指すべき選択肢の
「ひとつ」にしか過ぎない。

「宇宙船地球号の一員」として
世界中が「利己」から「利他」へと

「ひとつ」になること=UNIFICATIONこそ、

本当のゴール!!

そして、これからが本番